

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	車両基地・貨物駅周辺整備対策事業	会計名称	一般会計		担当課	都市住宅課	
		予算科目	8 款 2 項 5 目	事業番号	3745	所属長名	三谷陽紀
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	久保貴比古	
法令根拠等	社会資本整備総合交付金、愛媛県車両基地・貨物駅等周辺整備対策補助交付金要綱				実施期間	【開始】	平成 27 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 住みやすい都市空間づくり					【終了】	平成 31 年度(予定) <input type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	新しく駅が出来ることにより、周辺の交通量が多くなるため、安全な交通体系づくりを目指す。						
事業の対象	JR車両基地・貨物駅整備周辺住民	事業の目的		JR車両基地・貨物駅等整備による周辺地区への環境変化を軽減するため、道路等の整備を行う。			
事業の内容 (整備内容)	JR車両基地・貨物駅周辺の道路等の整備	昨年度の課題に対する具体的な改善策		現在、駐輪場の設計中であり、具体的な配置図等が出来上がり次第、経済雇用戦略課と協議を進め、情報共有に努めたい。			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)									
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29 年度実績	30 年度予定	9月末の実績	30 年度実績				
直接事業費	4,694	86,856	16,500	6,000	98,166	10,534	道路改良延長	m	40	198	0	28				
財源内訳																
国庫支出金	2,557	2,499	8,100	0	8,451	2,148										
県支出金	1,000	42,128	4,113	2,610	44,730	4,121										
地方債	0	0	0	0	0	0										
その他	0	0	0	0	0	0	橋梁架替 (下部工)	橋	0	0	0	0				
一般財源	1,137	42,229	4,287	3,390	44,985	4,265	橋梁架替 (上部工)	橋	0	0	0	0				
職員の人工 (にんく) 数	0.10	0.10				0.10										
1人工当たりの人件費単価	8,017	7,982				7,982										
※ 直接事業費+人件費	5,496	87,654				11,332	駐輪場用地取得	式	0	1	1	1				
主な実施主体	直接実施	実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)														
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					31 年度	110,498	32 年度	0	33 年度		34 年度		35 年度		5年間の合計	110,498
					単位		区分年度	29 年度	30 年度	- 年度	目標	31 年度				
成果指標	指標	当該年度までの事業費÷全体事業費×100			⇒	目標	36	68			100					
	指標設定の考え方	実施計画に基づき工程管理を行ない、目標年度での完了を目指す。				実績	27.5	31								
	指標で表せない効果															

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		駐輪場の開発申請について、県との協議に苦慮している。									
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	県との交渉について、法的根拠等を丁寧に説明し、開発申請は不要との見解を得た。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	5						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3						
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	5						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3						
	効率的	手段の最適性	活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A					
			投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	3							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) J R車両基地・貨物駅の移転に伴い、施設周辺の道路・水路及び新駅を整備し、移転による周辺環境の影響を低減するため。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4							
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	4							
効率的		手段の最適性	活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			A			
			投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	4							

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺の利便性の向上とあわせ、地域の活性化に繋げられるような事業展開を検討してほしい。</li> <li>・路線維持の観点からも、利用率の向上という施策も同時に検討するべきだろう。</li> <li>・豪雨災害の影響もあると思うが、年度末の完成を目指し、着々と進めていただきたい。</li> <li>・田園に立地している状況ではあるが、利用者呼び込むような取組を実施していただきたい。</li> </ul>
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を行う。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を行う。	コメント欄 令和元年度の完成を目指し、さらに重点化とする。